

筑波地区研究所を閉鎖し、吹田地区に研究開発機能を集中

株式会社日本触媒(本社：大阪市中央区、社長：池田全徳、以下「日本触媒」)は、2017年3月末で筑波地区研究所を閉鎖し、吹田地区に研究開発機能を集約・強化してまいります。

筑波地区研究所は1988年に筑波テクノパーク周辺研究施設とのシナジーを図りながら、バイオテクノロジー先端技術を活用し新規製品を開発する目的で設立されました。これまで筑波地区研究所では、光学活性マンデル酸、合成タンパク糖鎖などの成果を上げてまいりました。しかし現在では、バイオテクノロジー技術とポリマー合成技術や有機合成技術などとの技術融合の重要性が増しているため、筑波地区研究所の機能を吹田地区研究所に集約し、当社の研究開発機能を強化することとしました。

これにより当社は、当社の将来の発展を担う新規製品の開発を、今後ますます加速させてまいります。

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 経営企画室 IR・広報部
TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2